

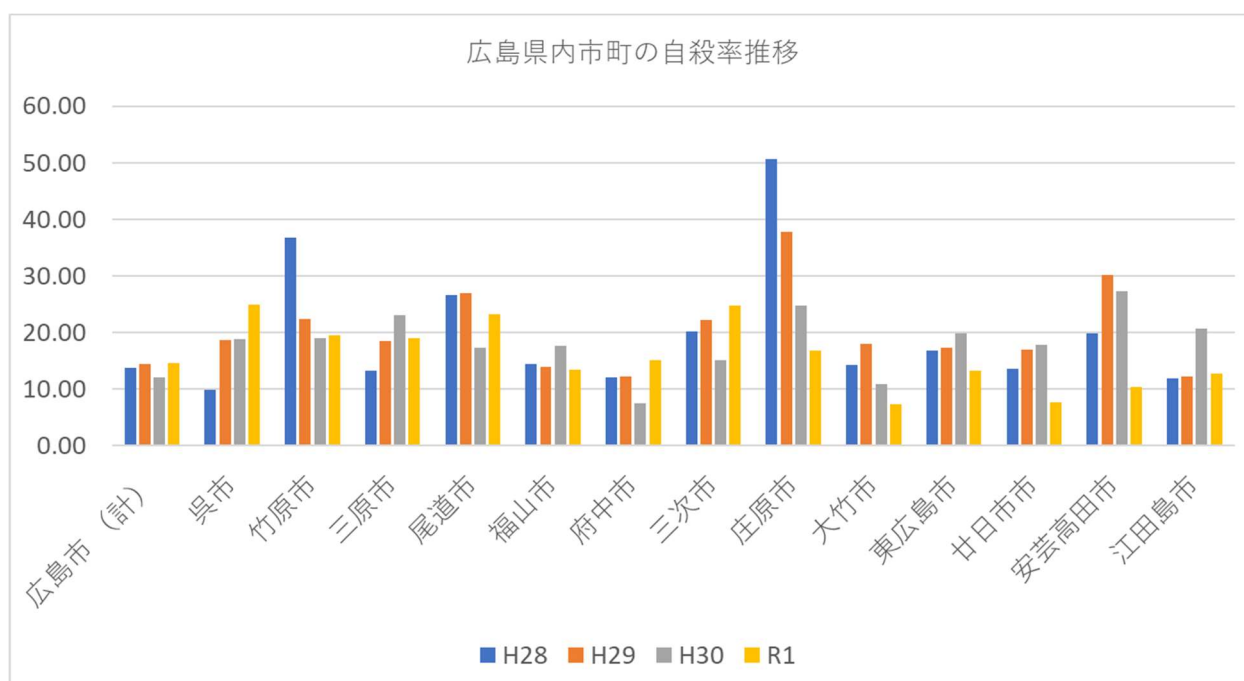
令和2年12月定例会一般質問

1. 自殺防止対策について

(1) メンタルヘルスサポート事業の相談室利用制限の緩和について

新型コロナウイルス感染症の影響があると見られていますが、悲しいことに、自ら死を選ぶ人が全国的に増えている状況にあります。厚労省が発表している暫定値によると、本市では、例年に比べて急激に増える傾向にはないようです。

しかし、本市の自殺率が、広島県や国の平均より高い状況にあり、メンタルヘルス不調者の早期発見・早期相談ができるように、平成30年度から相談室・カウンセリングルームが開設されました。



無料で3回まで相談できることになっていますが、心の相談は3回で完結するとは限りません。新型コロナウイルスの影響で、人とのつながりを持ちにくい状況が続く中、公共の相談場所がより重要になっています。また、本市での自殺が無職の方が多く、無料で安心して相談できる体制を整えることが必要と考えます。

自殺を防ぐためには、カウンセリングルームだけでなく、様々な機関が協力して取り組む必要があることや、私たち全ての人々が、自殺が個人の自由な意志や選択の結果ではなく、命を絶たざるを得ない状況にまで追い込まれてしまう過程であることを理解して、三原市全体がやさしいまちになっていくことが必要であると理解しています。

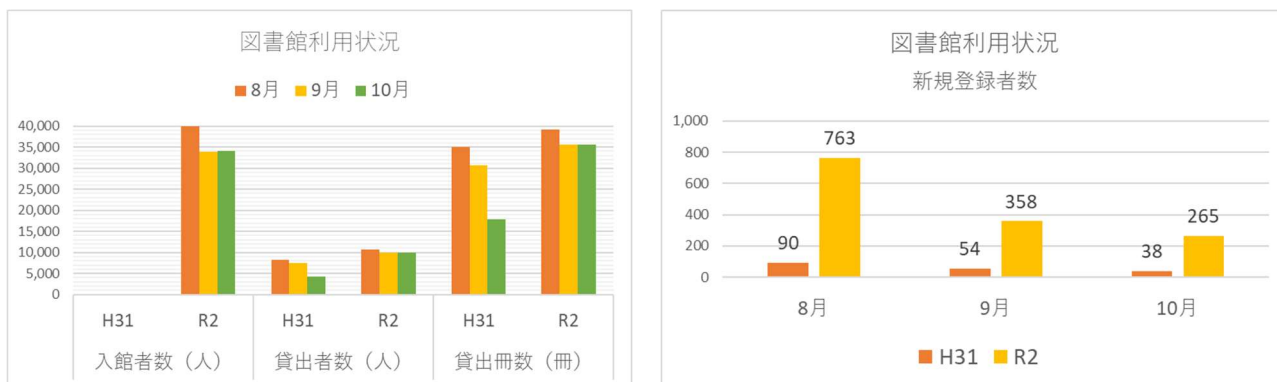
一般質問 R2 年 12 月

安藤志保 TEL : 090-5265-3855 メール : andoshiho@gmail.com

しかし、やはり公共の相談室の役割を考えると、利用制限を緩和する必要があるのではないのでしょうか。お尋ねします。

2. 学校図書館の充実について

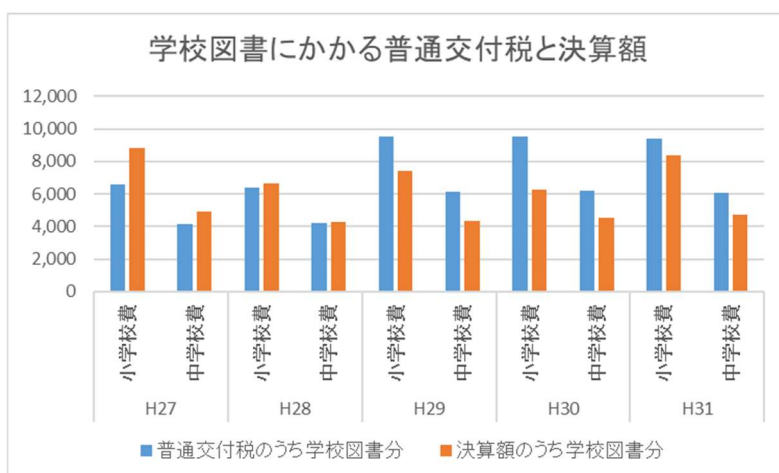
駅前中央図書館がオープンして4ヶ月経ちました。コロナウイルスの影響により入場制限をしながらのオープンでしたが、入館者数は予測以上に伸び、貸出者数は昨年の約3割増し、新規登録者数は3か月を通じて昨年の7.6倍となっており、新しい図書館になって、多くの方が利用してくださっているのは嬉しいことです。



以前よりも多くの方の来館や注目が得られている今、この機会を捉えて、図書館をまちづくりの推進力として活用していくことが重要です。今回は、読書好きの子どもを増やし、情報活用力を高めていけるよう、学校図書館の充実について質問します。

(2) 学校図書費の確保について

1点目は学校図書費の確保についてです。グラフも提示させていただきますが、青い棒グラフが本市の普通交付税のうちの学校図書分、赤い棒グラフが本市で実際にいくら使われたか決算額を示しています。平成27年、28年は、決算額のほうが上回っていて、財政面から学校図書館の充実に取り組みられてきたことがうかがえます。



しかし、平成 29 年に文科省で「学校図書館図書整備等 5 ヶ年計画」がつけられて以降、決算額のほうが下回っています。

新しい
『学校図書館図書整備等5か年計画』が、
平成29年度からスタートします！

今、申し上げた文科省の計画を知らせるパンフレットに、普通交付税による

- 地方財政措置は、**用途を特定しない一般財源として措置されている**ものです。
- したがって、各市町村等において**予算化が図られること**によって、**はじめて図書や新聞の購入費や、学校司書の配置のための費用に充てられます。**
- 各市町村等におかれては、**学校図書館の現状把握**と、それに基づく**適切な予算措置**をお願いします。

と書かれています。

平成 27 年 28 年がんばっていたのを差し引いて考えても、交付税上の見積もりに比べて約 800 万円下回っていることになるわけですが、適切な予算が確保されているというお考えでしょうか？また、各学校図書館の現状について、どのように把握をしておられるか、どのような課題があるか、お尋ねします。現状については、図書のデータベース化の状況も、合わせてお答えいただきたいと思います。

(3) 市立図書館との連携について

2点目は、市立図書館との連携についてです。「子ども司書」の養成など、図書館と学校図書館の連携や協力を進められているところですが、さらに、学校図書館への支援として、学年やテーマに応じた学習用の図書セットをパッケージ化して、学校側が借りやすい仕組みを整えることができないでしょうか。県立図書館や他市の図書館で、その

ような対応がされているようです。

セット内容

① 幼児・小学校低学年向けセット

幼児向けの絵本（名作、新作、昔話など）、低学年向けの読みもの、自然科学絵本（動物、植物、からだなど）、のりもの、工作、料理、あそび、ことばあそび・詩などの本をセットにしています。

② 小学校低学年向け読みものセット

低学年向けの日本や外国の読みものをセットにしています。

③ 小学校高学年向けセット

絵本（名作、新作など）、中学年向け読みもの、高学年向け読みもの、伝記、社会科学、自然科学、趣味・実用書（のりもの、工作、料理、手芸、実験、あそびなど）などをセットにしています。

④ 学習セット

広島版「学びの変革」アクション・プラン等に活用できるテーマ別の本をそろえています。

学習セットのテーマ							令和2年4月現在	
区分	セット名	区分	セット名	区分	セット名	区分	セット名	
調べ方	調べ方1	防災	防災1	植物	稲作・米4	スポーツ	オリンピック・パラリンピック	
	調べ方2		防災2		米		野菜作り1	スポーツ
歴史 社会	昭和のくらし		防災3	防災	野菜作り		野菜作り2	遊び
	世界遺産	宇宙 科学実験	宇宙	食	食1		劇	遊び2
	年中行事		科学実験・自由研究1		食2			工作・折り紙
	お金		科学実験・自由研究2		食3		劇(小学校1)	
	消費者問題		科学実験・自由研究3		食4	劇(小学校2)		
伝記 名言	伝記日本		科学実験・自由研究4	健康	薬物・タバコ	俳句・短歌 詩 作文・感想文	俳句・短歌	
	伝記世界	昆虫1	ストレス	人のからだ	詩(小学校低学年)			
	名言	昆虫2		からだのち・性	詩(小学校高学年)			
	福祉1				健康	作文・感想文	作文・感想文	

広島県立図書館ホームページより

3. 郷土資料の保存と活用について

(4) 市立図書館の蔵書から大量に除籍された郷土資料の所在と位置づけについて

今年3月の予算委員会で質疑を行った問題ですが、その後も状況が改善されていないのではないのでしょうか。

3月の時点で、

- ・ 図書館所蔵の郷土資料約3,000冊が箱詰めされ、貸し出しできない状態になっていること
- ・ その3,000冊は、例えば江戸時代の資料など、文化課に所管を変えるべきか、図書館での所蔵を続けるか、協議が必要なものであること
- ・ その3,000冊は、システム上除籍されていて、図書館で所蔵することが決まった資料は、再度データ登録し直すこと

をお答えいただいていたました。

一般質問 R2年12月

安藤志保 TEL: 090-5265-3855 メール: andoshiho@gmail.com

それから 9 カ月経ちます。除籍リストの情報公開請求もさせていただいて、除籍されたものが 4,000 冊くらいあるのではないかと思います。協議や仕分け作業が進んでいるのでしょうか。現在、資料がどこにあるのか、そして、どのような位置づけにされているのかお尋ねします。

(5) 蔵書と除籍された資料の今後の活用について

2 点目は、図書館蔵書の郷土資料と、除籍された郷土資料の今後の活用について、お尋ねします。この間、除籍された郷土資料が閲覧や検索ができない状態が続き、所蔵されている郷土資料についても、図書館の検索システムで【貴重資料・郷土資料】の分類での検索ができない状態が続いています。

図書館所蔵の資料は、三原市民の財産です。三原市の郷土資料は高い評価を受けていて、研究者からの問い合わせも多いと聞いています。三原市のことを知りたい、調べたいと思った時に、情報にアクセスできない状態というのは、市民や研究者が機会を損失しており、図書館としては基本的な機能を果たすことができていないということになります。今後の活用について、いつまでにどのように対応していかれるのか、お尋ねします。

4. 不適正な事務処理のあった埋蔵文化財発掘調査について

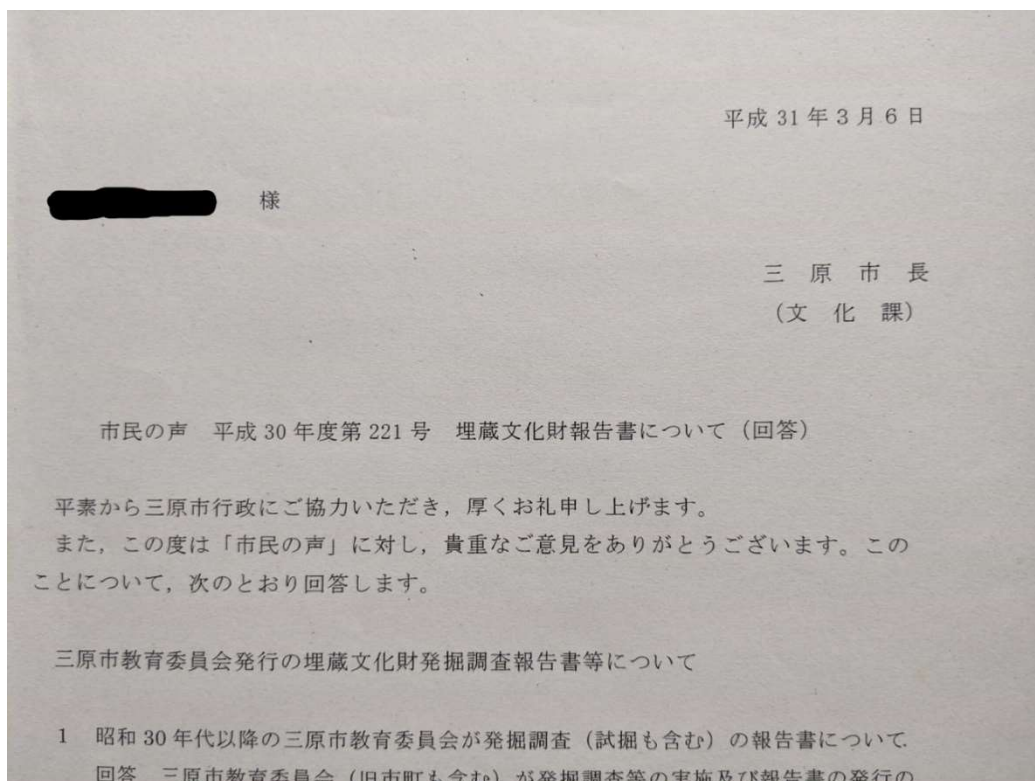
(6) 組織体制の不備をどのように改善するのか

過去の発掘調査について、実際には印刷製本せずに、支払いをしていたことが明らかになりました。支払いがあったのは、平成 22 年 5 月と平成 27 年 5 月、事業年度としては平成 21 年度と 26 年度に行われていました。教育委員会として、このような事務処理を見過ごしてきた組織体制を、どのように改善を図っていくのでしょうか。表を示して説明します。

21 年度と 26 年度の 2 度にわたる出来事ですが、項目としては 21 年度に 4 種類の合計 1200 冊、26 年度に 3 種類の合計 900 冊、それぞれ 3 月末納品、出納閉鎖ぎりぎり 5 月の支払いという状況でした。情報公開請求によって、支出命令書や、業者側の納品書などの伝票類を確認させていただきました。

そして、報告書が発行されていないことが、外部から指摘されていました。

	日付		内容	
	起票日	支払期限日	金額	適用
平成22年 (2010年)	5月7日	5月24日	283,500	天神2号古墳 発掘調査報告書300冊
	5月7日	5月24日	294,000	三太刀遺跡・みたち古墳 発掘調査概要報告書300冊
	5月7日	5月24日	289,800	天神城跡・古墳発掘調査概要報告書300冊
	5月7日	5月28日	298,200	三太刀遺跡（I区）発掘調査報告書300冊
平成27年 (2015年)	5月1日	5月28日	290,000	三太刀H・I区発掘調査報告書印刷製本300冊
	5月1日	5月28日	110,000	みたち古墳発掘調査報告書印刷製本300冊
	5月1日	5月28日	200,000	三太刀J・K区発掘調査報告書印刷製本300冊
平成28年 (2016年)	9月21日		「市民の声」提出	
平成29年 (2017年)	6月2日		歴史民俗資料館専門委員会で委員長より指摘	
	12月15日		歴史民俗資料館専門委員会で委員長より指摘	
平成30年 (2018年)	6月			
	11月7日		市議会決算委員会	
平成31年 (2019年)	1月7日		「市民の声」提出	
	3月6日		「市民の声」回答	
令和2年 (2020年)	2月12日		教育委員会に情報公開請求	
	3月11日		市議会予算委員会	
	3月13日		教育委員会より情報公開請求文書の公開	
	6月		「三太刀遺跡・みたち古墳発掘調査概要報告書」発行（発行日付は令和2年3月31日）	



一般質問 R2 年 12 月

安藤志保 TEL：090-5265-3855 メール：andoshiho@gmail.com

支払いの対象となる事業が完了したかどうか確認するという当たり前すぎることがなされていなかった、1度ならず2度までも起きている、こうしたことが繰り返されないように、どうやって改善していかれるのでしょうか。

また、組織体制の不備は、事務処理の問題に留まりません。外部から何度も指摘を受けながら、対応されないまま何年も過ぎたという経緯もあります。外部からの声、指摘を蔑ろにする体質があるのではないのでしょうか。この点についても、どう改善を図るのか、お答えください。

(7) 発掘調査報告書の今後の発行はどのような予定か

平成31年3月時点で、未発行の報告書の発行予定を、「市民の声」への回答として答えておられました。この時点で4つ。天神山城遺跡を31年12月、ユウゼン古墳を同じく31年12月、三太刀遺跡H～J区を平成32年3月、みたち古墳を同じく32年3月という予定が回答されています。

この4つの発行状況を踏まえて、今後の予定をお示しください。

33	山王社窯跡	試掘調査	平成19年	報告書	平成20年3月
34	三太刀遺跡(H～J区)	発掘調査	平成19～23年	報告書	平成32年3月
35	天神山城遺跡	発掘調査	平成18～20年	報告書	平成31年12月
36	ユウゼン古墳	発掘調査	平成21年	報告書	平成31年12月
37	みたち古墳	発掘調査	平成25～26年	報告書	平成32年3月
38	三原城跡	発掘調査	平成25～26年	報告書	平成27年3月

(8) 発掘調査の成果を市民にどのように還元していくのか

本郷町時代に発行された「三太刀遺跡」Ⅰ、Ⅱ、Ⅲなどの調査報告書も、中央図書館で読ませていただきました。発掘調査によって明らかになった情報や、発掘されたモノ、遺物が多くあります。

先ほど紹介させていただいた平成28年の「市民の声」では、

- ・平成27年11月～12月に東広島市出土文化財管理センターにおける展示で、三原市教育委員会所蔵の正広城跡や天神山城跡・三太刀遺跡の出土遺物が展示されたこと
 - ・三原市民が見たことのない資料の展示だったこと
- も指摘されています。

発掘調査によって得られた情報や遺物は、今後どのように活かし、市民に還元されるのか、お尋ねします。

また、それぞれの報告書の冒頭には、報告書が埋蔵文化財の資料として、地域の歴史の一端を知る手掛かりとして、少しでも寄与できれば幸いであると、記載されています。報告書の活用についても、合わせてお答えください。